

社会科学習指導案

4年2組 36名 指導者 新名主 洋 一

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 本授業で使用した「思考スキル」や「見える図」は、子どもの思考力・判断力を高めるために有効であったか。
- 本授業における言語活動は、子どもの思考力・判断力・表現力を高めるのに有効であったか。

1 小単元 事故や事件からくらしを守る (大単元 1 くらしを守る)

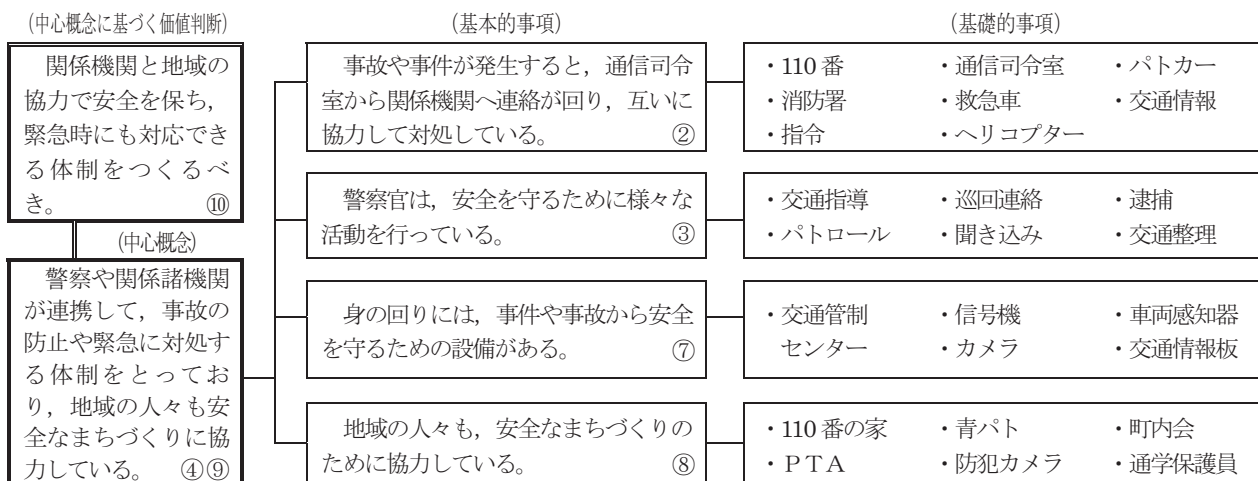
2 目 標

事故や事件から地域の人々の安全を守る活動に従事する人々の工夫や努力を知るとともに、関係諸機関と緊急事態に備えた連絡・活動の仕組みについて理解し、社会の一員として、協力できることに取り組もうとする意欲をもてるようにする。

3 小単元の評価規準

- 事故や事件から人々の安全を守る諸活動に関心をもち、安全を守るための体制や施設・設備などについて意欲的に調べようとする。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 警察などの関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力によって地域の人々の安全な生活が守られていることについて考え、考えたことを適切に表現している。 【社会的な思考・判断・表現】
- 事故や事件から地域の人々を守るための施設・設備、地域の人々の協力の様子を観点に基づいて調査・見学したり、資料を活用したりして、安全な生活のための活動について必要な情報を集めている。 【観察・資料活用 of 技能】
- 事故や事件から地域の人々の安全を守るための関係機関の働きと、そこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解している。 【社会的事象についての知識・理解】

4 小単元の構造について (概念構造図) ※○数字は時



5 小単元について

(1) 小単元の価値

本小単元は、学習指導要領の第3・4学年の目標(1)および(3)の一部を達成することをねらいとして設定した。ここでは、人々の安全を守るために、警察などの関係機関が平素から事故や事件の防止に努めるとともに、緊急時に対応するために日頃から準備をし、緊急時には関係機関が連携して対処していること、また、地域の人々も協力して、安全なまちづくりを行っていることを理解し、社会の一員として積極的に協力しようという意欲を育てることを目標としている。

鹿児島県の交通事故発生件数や刑法犯罪認知件数は年々減少している。この原因の一つが、警察の日常的な取組である。鹿児島県警は新「あんしん・かごしま」創造プログラムを策定し、具体的な行動計画を掲げている。このような警察の取組を調べることで、事故防止のための日常の取組や緊急事態に対する備え、事故や事件が発生した際の組織的な対処について学習することができる。また、もう一つの原因が、地域全体で安全を守ろうという取組である。鹿児島県では「犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」を、また、鹿児島市は「鹿児島市安心安全まちづくり条例」を制定し、地域全体で安全を守ろうという意識を高め、地域の安全活動を支援している。このような地域の取組を調べることで、自分も地域社会の一員として自分の安全は自分で守ることが大切であるという意識を育てたい。




(2) 子どもの実態

本小単元で扱う警察については、校区内に交番があり、実際に事故の現場で働く警察官の姿を

見たことがある子どももあり、ある程度、その働きについては知っている子どもも多い。しかし、事故や事件が起きた際の連携や事故防止の取組、また、地域における安全に対する取組については、普段は見えにくい活動であることから、理解していない子どもが多い。

そこで、実際に見学をしたりインタビューをしたりする活動を通し、これらのことに気付かせていきたい。その際、3年生でも使用してきた「思考スキル」や「見える図」を活用し、安全を守る人々の工夫や努力について理解させていきたい。また、子どもの実態を考えると、初めから地域の防犯活動まで気付くことは難しいと思われる。そこで、学習問題を2つ設定し、それぞれの学習問題を解決することで中心概念が獲得できるようにしていく。このような学習を通し、警察など安全を守るために働く人々だけでなく、社会全体がより安全で安心な社会をめざしていることに気付かせ、子どもたちに社会の一員としての自覚を促したい。

6 指導計画（総時数10時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
つかむ・見通す	<p>1 事故や事件の様子や発生件数のグラフを見て、学習問題①をつくりあげる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">警察は、事故や事件から私たちをどのように守っているのだろう。</p> <p>【関・意・態】 事故や事件から人々の安全を守る諸活動に関心を持ち、安全を守るための体制や施設・設備などについて意欲的に調べようとする。</p> <p>2 学習問題①について予想し、学習計画（追究の柱）を立てる。</p> <p>◎ 事故や事件が起こった際の対応について ◎ 事故や事件から守るための取組について</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「事故や犯罪への対処」という観点と、「事故や犯罪の未然防止」という観点から追究の柱を立てられるようにする。</p> 	1
調べる	<p>3 追究の柱について、資料をもとに個人やグループで調べ、全体で話し合う。</p> <p>(1) 各追究の柱について、それぞれ調べる。（見学、インタビュー、各種資料）</p> <p>(2) 追究の柱ごとに調べたことを発表し、全体で話し合う。</p>	1 1
まとめる	<p>4 調べたことをもとに、学習問題①についてまとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">警察は、様々な機関と連携して、事故や事件からわたしたちの暮らしを守るための活動を行っている。</p>	1
つかむ・見通す	<p>5 事故発生件数や事件の発生件数の推移を見て、学習問題②をつくりあげる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">なぜ、事故や事件の発生件数が減っているのだろう。</p> <p>6 学習問題②について予想し、学習計画（追究の柱）を立てる。</p> <p>◎ 安全を守るための施設について ◎ 県や市、地域の取組について</p>	1
調べる	<p>7 追究の柱について、資料をもとに個人やグループで調べ、全体で話し合う。（ジグソー学習）</p> <p>(1) 各追究の柱についてそれぞれ調べ、グループで交流する（見学、インタビュー、各種資料）。</p> <p>(2) 追究の柱ごとに調べたことを発表し、全体で話し合う。</p> <p>【思・判・表】 警察など関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力によって地域の人々の安全な生活が守られていることを考え、考えたことを適切に表現している。</p> <p>【技】 事故や事件から地域の人々を守るための施設・設備、地域の人々の協力の様子を観点に基づいて調査・見学したり、資料を活用したりして、安全な生活のための活動について必要な情報を集めている。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">見学活動やインタビューを取り入れ、事故や事件から暮らしを守る仕事に携わる人々の工夫や苦労について実感をもって捉えられるようにする。</p> 	2 1 (本時)
まとめる・生かす	<p>8 調べたことをもとに、学習問題②についてまとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">安全を守るため、様々な機関が連携して、事故や事件からわたしたちの暮らしを守るための活動が行われているから事故や事件が減っている。</p> <p>【知・理】 事故や事件から地域の人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解している。</p> <p>9 安全を守るために自分でできることを考え、「田上小安全宣言」をつくりあげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の乗り方について ・ 横断歩道の渡り方について ・ 安全な遊び方について ・ 地域の危険箇所について <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">学習したことを基に根拠を明らかにさせ、安全を守るためにこれからの生活の中で自分ができそうなことについて考えさせる。</p> 	1 1

7 本 時 (8 / 10)

(1) 目 標

地域の人々が安全を守るために警察と連携しながら様々な取組を行っていることを理解し、それによって地域の安全が守られていることを理解できるようにする。

(2) 評価規準

地域の人々が警察と連携しながら事故や事件の防止に努めたり、緊急の際に対処するために工夫したりしていることを理解することができる。 【社会的事象についての知識・理解】

(3) 指導に当たって

本時は、小単元の「調べる」過程の第6時で、地域の人々が安全を守るために警察と連携しながら様々な取組を行っていることを理解し、それによって地域の安全が守られていることを理解できるようにすることを目標としている。そこで、本時の「調べる」過程では、まず、資料を基に各自で地域の安全を守る取組について調べさせる。次に、地域の安全を守る取組をされている人々のインタビューVTRを視聴させ、それらの人々がどのような思いで取り組まれているのか、また、活動をする中で工夫や苦労はないのかということに気付かせていきたい。最後に、警察の方の工夫や思いと比較させることで、みんなで地域の安全を守ることが大切であることに気付かせたい。

(4) 本時の展開

[] 子どもの意識 ㊦資料 □ 指導の手立て ※評価

過程	時間	主な学習活動と指導の手立て・評価
つかむ・見通す	7	1 警察の仕事について振り返る。 (・パトロールを夜中にもしていたね。 ・交通指導や交通安全教室も行ってたよ。 ・各家庭を訪問する活動もしていたね。)
		2 学習計画を基に、本時のめあてを確認する。 地域の人々は、安全を守るためにどのような取組を、どのような思いで取り組んでいるのだろう。
調べる	30	3 めあてに対する予想を立てる。 (・地域の人たちも、パトロールをしているのかな。 ・通学保護員の方も地域の方だね。)
		4 地域の人々が行っている活動について調べる。 (・青パトが走っているのを見たことがあるよ。 ・子ども110番の家が、学校の近くにあったよ。 ・PTAのお母さんたちが、見回りをされていたよ。)
		5 地域の人々が、どのような思いでこのような活動をされているのか、資料を基に考える。 (・通学保護員の方は、わたしたちが安全に通ることができるよう、車の動きに注意してくださっているんだね。 ・青パトも、放送の内容や走る時間を考えてくださっている。 ・他の仕事をしながら、わたしたちの安全を守ってくださっている。 ・警察と協力して活動しているんだね。)
		6 地域の人々の思いと警察の方の思いを比べて考える。 (・地域の方も警察の方も、安全を守りたいという思いが一緒だね。 ・みんなで安全を守っていくことが大切なんだね。)
まとめる・生かす	8	7 まとめ文を書き、本時の学習についてまとめる。 地域の人々は警察と協力しながら、安心・安全な地域をつくらうと、様々な活動に取り組んでいる。
		8 本時の学習について振り返り、次時の学習について確認する。 (・警察や地域の人々がこのような活動をしているからこそ、安心して暮らすことができる。 ・わたしたちにできることはないかな。)

後で警察の仕事と比較させるため、この段階で警察の仕事について振り返らせる。

学習後の考えの変化に気付かせるために、この段階でめあてに対する予想を立てさせる。

資料を基に、地域で行われている安全を維持する活動について調べさせる。

㊦教科書、資料集

VTRを基に、地域の人々も安全を守るために様々な工夫や努力をしていることを捉えさせる。

㊦VTR

地域の人々の思いと警察の方の思いを比較させ、その思いが同じであることに気付かせ、協力して活動していくことが重要であることを捉えさせる。

※ 地域の人々が安全を守るために警察と連携して様々な活動を行っていることを理解し、まとめることができたか。(ノート、発言)

- ・まとめられた子どもには、これから自分でできることを考えさせる。
- ・うまくまとめられない子どもには、二つの共通点を再度確認させる。